

No. 1616

45年ぶり密林から帰国

——成田——

太平洋戦争直後からタイ・マレーシア国境のジャングルでマラヤ共産党の反英独立闘争に参加していた橋本恵之さん71歳と田中清明さん77歳が1月13日45年ぶりに帰国しました。

昨年12月2日マラヤ共産党とマレーシア政府、タイ政府三者間で和解が成立し、武装解除・下山を決定したため帰国を決定したものです。

二人は空港で記者会見し、「日本のことを片時も忘れなかった」と祖国への熱い思いを語りました。

年号は変わったとはいえ昭和の傷みは未だつづいているのです。

新たな世界秩序作りへ

——海部首相訪欧——

海部首相は1月8日から18日まで欧州8ヶ国を訪問しました。

第一の訪問国西ドイツで歓迎式典に出席。コール首相との初の首脳会談で海部首相は東西両ドイツの統一について再統一をめざしながら現実的対応をすすめる西ドイツの姿勢に理解を示しました。そのあとボンから西ベルリンに飛び、かつての東西冷戦の象徴であった、ブランデンブルグ門を訪れました。昨年12月2日開通式が行われ、通行が自由になった検問所やベルリンの壁を記念にけずる市民たちの様子を視察しました。首相は「今は思い出の壁に変わり、東西から春の風が通り抜けた」と感慨をのべました。

フランスではミッテラン大統領とエリゼ宮で会談。首相は「新しい国際秩序の構築に積極的に貢献したい」と表明。

イギリスのサッチャー首相とは東欧への支援策について資金面だけでなく、経営管理、技術訓練を含め協力することで一致しました。

またバチカン市国のローマ法皇庁に、ヨハネパウロ二世を表敬訪問し、世界平和のために指導力を発揮している法皇に敬意を表しました。

東欧のポーランド入りした首相は総額10億ドル余りの資金援助策をマゾビエツキ首相に伝えたあとワレサ「連帯」委員長と会談。委員長の今年中の訪日を歓迎しました。

最後の訪問国ハンガリー、ネメート首相との会談で総額9億ドルにのぼるハンガリー支援策を公式に伝えました。東欧の政治改革のきっかけをつくったブダペストの街は明るさがあふれています。

今回の訪欧で日本に対して新しい世界の秩序づくりの一端を責任を持って担っていく姿勢が期待されています。